

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 2025 年度

医学アカデミー 歯科衛生科（省令で定める単位数等の基準数相当分）

医学アカデミー 薬剤師養成科

科目名	時間数	年次	担当	実務経験を活かした授業内容
基礎薬学 物理系	9 8	1	久米 博貴	製薬会社での営業経験を生かして、病院、薬局での現場の状況、特に放射線に関する医薬品の取り扱いや検査キットの患者への説明などをしながら講義に活かしている。
基礎薬学 化学系	1 0 0	1	原田 真理	薬局勤務の経験を活かし基礎科目も薬剤師に必要な知識であり臨床で化学の知識がどのように役立つかを伝えるとともに、臨床を踏まえた基礎科目としての医薬品の講義や実践問題対策を実施している。また、漢方薬局での研修の経験を活かし、漢方処方の処方意図を考えられるような講義展開をおこなう。
臨床薬学 実務	1 2 9	1	安藤 光樹	薬剤師として勤務していた経験を活かし医療現場での医薬品管理やチーム医療、医薬品の提案、患者対応が適切に行え、個別化の進む薬学的管理を将来薬剤師として考えて提案・実践できるようになる講義展開をおこなう。

医学アカデミー 理学療法学科（昼間部）

科目名	時間数	年次	担当	実務経験を活かした授業内容
臨床運動学	3 0	2	森田 敬介	回復期病院、介護老人保健施設での勤務経験を活かした授業を実施し、対象者の動作能力を分析する手法について習得させる。
理学療法研究	3 0	2	古谷 友希	内部障害、地域高齢者における研究の経験を活かした授業を実施し、研究テーマおよびその基本的手法について習得させる。
理学療法管理学	3 0	3	土屋 稔	臨床における職場管理経験を活かした授業を実施し、安心安全な職場環境の構築について習得させる。
理学療法評価概論	1 6	1	土屋 稔	介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、対象者を評価することの基本と重要性について習得させる。
理学療法評価Ⅱ	4 4	1	永野 真奈美	病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、基本的評価技術を習得させる。
運動療法Ⅱ	4 8	2	高橋 範行	スポーツ分野での運動指導経験、サポートの経験を活かした授業を実施し、基本的運動療法の手法について習得させる。
日常生活活動	3 0	2	永野 真奈美	病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、日常生活活動の評価手法について習得させる。

疾患別理学療法Ⅱ（成人中枢）	4 8	2	奥平 貴仁	回復期病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、脳血管障害患者の基本的評価、アプローチ方法について習得させる。
疾患別理学療法Ⅳ（内部障害）	4 8	3	古谷 友希	病院における臨床経験を活かし他授業を実施し、内部障害患者の基本的評価、アプローチ方法について習得させる。
疾患別理学療法Ⅴ（小児発達障害）	1 6	3	稲葉 貴宏	病院における臨床経験を活かした授業を実施し、小児発達障害児の基本的評価、アプローチ方法について習得させる。

医学アカデミー 理学療法学科（夜間部）

科目名	時間数	年次	担当	実務経験を活かした授業内容
理学療法研究法	3 0	2	森田 敬介	内部障害、地域高齢者における研究の経験を活かした授業を実施し、研究テーマおよびその基本的手法について習得させる。
理学療法管理学	3 0	3	新井 啓介	臨床における職場管理経験を活かした授業を実施し、働きやすい環境づくり、理学療法対象者が安心安全な環境の構築について習得させる。
理学療法評価概論	1 6	1	杉田 貴寛	病院での臨床経験を活かした授業を実施し、対象者を評価することの基本と重要性について習得させる。
理学療法評価Ⅱ	4 4	1	田中 靖子	病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、基本的評価技術を習得させる。
理学療法評価Ⅲ	3 0	2	森田 敬介	病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、応用的評価技術を習得させる。
理学療法評価Ⅳ	3 0	2	杉田 貴寛	病院での臨床経験を活かした授業を実施し、応用的評価技術を習得させる。
理学療法評価Ⅴ	4 4		新井 啓介	病院での臨床経験を活かした授業を実施し、理学療法対象者の目標、プログラムを設定する方法について習得させる。
運動療法Ⅰ	3 0	1	高橋 範行	スポーツ分野での運動指導経験、サポートの経験を活かした授業を実施し、基本的運動療法の手法について習得させる。
運動療法Ⅱ	3 0	2	高橋 範行	スポーツ分野での運動指導経験、サポートの経験を活かした授業を実施し、基本的運動療法の手法について習得させる。
疾患別理学療法Ⅱ（成人中枢）	4 8	2	奥平 貴仁	回復期病院、介護老人保健施設での臨床経験を活かした授業を実施し、脳血管障害患者の基本的評価、アプローチ方法について習得させる。
疾患別理学療法Ⅴ（小児発達障害）	1 6	1	杉田 貴寛	病院における臨床経験を活かした授業を実施し、小児発達障害児の基本的評価、アプローチ方法について習得させる。

医学アカデミー 歯科衛生士学科（午前部・午後部）

科目名	時間数	年次	担当	実務経験を活かした授業内容
歯科衛生学総論	1 6	1	遠藤 美香沙、眞継 奈緒子 塚田 邦枝、小林 巳都梨	歯科衛生士の臨床経験を基に職業の理解や歯科衛生士に必要な医療者としてのあるべき態度を習得できるように努める
歯科予防処置Ⅰ	1 6	1	眞継 奈緒子	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科予防処置に必要な知識・技術の習得に努める
歯科予防処置Ⅱ	1 6	1	眞継 奈緒子	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科予防処置に必要な知識・技術の習得に努める
歯科予防処置演習Ⅰ	6 4	1	眞継 奈緒子 小林 巳都梨	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科予防処置に必要な知識・技術の習得に努める
歯科保健指導Ⅰ	1 6	1	遠藤 美香沙	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科保健指導に必要な知識・技術の習得に努める
歯科保健指導Ⅱ	1 6	1	遠藤 美香沙 眞継 奈緒子	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科保健指導に必要な知識・技術の習得に努める
歯科保健指導演習Ⅰ	3 2	1	遠藤 美香沙	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科保健指導に必要な知識・技術の習得に努める
歯科診療補助Ⅰ	1 6	1	小林 巳都梨	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科診療補助に必要な知識・技術の習得に努める
歯科診療補助Ⅱ	3 2	1	小林 巳都梨	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科診療補助に必要な知識・技術の習得に努める
歯科診療補助演習Ⅰ	3 2	1	塚田 邦枝	歯科衛生士の臨床経験を踏まえ、歯科診療補助に必要な知識・技術の習得に努める
総合講義Ⅰ（保健請求事務）	1 6	1	小林 巳都梨、遠藤 美香沙	歯科衛生士の実務経験を活かし医療診療記録（カルテ）から歯科治療内容を理解する方法、診療報酬の点数化と請求業務まで理解できるように努める
総合科目Ⅰ	1 6	1	小林 巳都梨	歯科衛生士の実務経験を活かし、1学年で学ぶべき歯科衛生士に必要な知識のまとめを行う